

うに郷通信

No.149
令和3年(2021)12月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会開催

宇仁はつらつ部会では10月24日(日)に開催された第14回コスモまつりの行事の一つとして三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会を宇仁小学校グラウンドで開催しました。

各町より子供会・女性会・老人会など世代を超えた5人一組の編成で計10チームによる競技を行いました。子ども達は最初のうちはボールとスティックの扱いに戸惑っていましたが、チームの方からいろいろアドバイスを受け、徐々にプレーができるようになっていきました。ラウンドが進むにつれスティックの扱いにも慣れ、ホールインワンを出す子どももいました。細かな点にこだわらないふれあいを目的とした特別ルールで行ったため、初めてでも生き生きとプレー出来ていました。

当日は天候にも恵まれ各チームは優勝を目指す中でも和気あいあいとプレーを進めることができ、良いふれあいの場となりました。結果は次のとおりです。

優勝 シラコリ国正、準優勝 パンジー小印南、第3位 カトレア国正
ベストグロ賞 大人の部:松本悦子、子どもの部:原 呼也、片岡咲桜

(宇仁はつらつ部会)

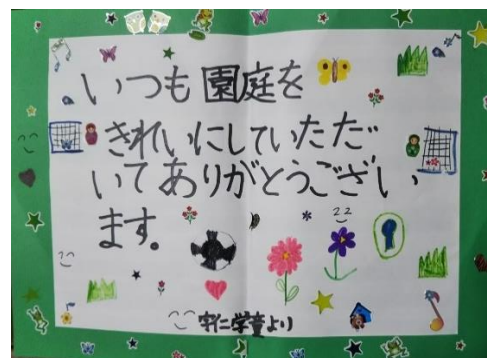


旧宇仁幼稚園 冬の衣替え終了!!

学童の子どもたちから「いつも季節の変わり目に園庭の掃除と花の植え替えをしてもらってありがとうございます。誰に感謝を伝えればよいのかと思っていました」と手作りのマスクケースと感謝状をいただきました。思いもよらない子どもたちの心づかいがうれしくて、ここに掲載しました。

9月26日青野町の桜井ハウスでポット上げをしたパンジー、金魚草、ストック、プリムラの花は、宇仁の皆さんの家で可愛く咲かかれていますか? 私達は夏に咲き続けてくれた花を片付け、草を引き、春に大きくなって子ども達の楽しい場所になることを願いながら、11月7日学童保育場所の旧宇仁幼稚園園庭花壇の花苗を植え替えました。植え替えが終わり、水をかけると園庭が見違えるほど華やかでした。明日からまた、子どもたちを見守ってくださいね。

追伸 旧宇仁幼稚園園庭ボランティアを募集しています!! ご参加ください。
(子育て支援センター)



花苗を配りました

11月7日(日)、国正町三世代ふれあい事業に合わせてまちづくり協議会で育てた花苗を配りました。11時過ぎから、一軒に3ポットずつ好みの花苗を選んでいただき「どれにしようかな」「この花は背が高くなるのかな」「どんな色の花が咲くのかな」「一番育て易いのはどれかな」といろいろと相談しながら笑顔いっぱい花選びをされていました。

昨年は約70軒の家にお配りできましたが、今年はそれより多く約80軒にお配りできました。また、花は好きだけど歩いて公民館まで行けないという方にはスタッフで手分けして配り、大変喜んでいただきました。

11時30分頃よりコミプラ前の4個のプランターに花苗を植えました。春になるとこのプランターの花も近くの桜に負けずきっと美しく咲いてくれるだろうと楽しみにしながら植えました。このプランターはウォーキング中に立ち寄り、草引き・花柄摘みをしていただける方が数人おられます。ありがとうございます。

なお、プリムラは今は弱々しいですが、暖かくなる3月頃になると元気にぐんぐん育って、かわいいピンクの花が咲きますので、楽しみにして育ててください。どの花も日当たりのよい、霜の当たらない場所で育ててください。

(国正町花苗ボランティアスタッフ)

ほっとトークで寄せ植え



まちづくり協議会で育成した花苗を使って今年も寄せ植えをしました。パンジーの色を考えてストックや金魚草などの配置を決め、土を子どもと一緒にに入れて水やりしました。楽しい時間を過ごせました。

来年にはアロマでハンドマッサージなども計画しています。毎月1回第3火曜日午前10時から開催しています。参加者大募集中です。小さい子どもさんと一緒にの参加、大歓迎です。

連絡先 繁田由見子

(子育てほっとトーク)

宇仁小学校の思い出 ⑨ ～思いやる心、いつまでも～

宇仁小学校を最後に、退職して約半年が経ちました。皆様、お変わりございませんか。10月の緊急事態宣言解除を機に、地域・学校も徐々に平常に戻りつつあるのではないのでしょうか。今後も感染対策を万全にされ、地域と学校が密接につながり合う宇仁郷であり続けてください。

さて、数多い宇仁小学校の思い出から一つ挙げるとすれば、心優しい8人の6年生との出逢いでしょうか。6年生は卒業記念品を何にするか話し合う中で、在校生の暑さ対策のために飲み水が出る水道をつけることを提案してくれました。当初、業者の見積りを見ると、到底賄える金額ではありませんでした。しかし、宇仁青少年健全育成会とPTAの資金援助を受けて実現できました。水道が完成した時に、6年生が「水乾杯」していた姿が印象的でした。

また、奈良・京都への修学旅行で日本文化の理解を深めていたその時、沖縄・首里城消失の報道が流れました。文化財消失によって悲しい思いをしておられるに違いない沖縄の方々のために8人の6年生は、すぐに募金活動を企画しました。さつまいも祭りでも宇仁郷の皆さんに呼びかけ、多くのご賛同をいただきました。首里城は来年から再建工事が始まり、2026年完成の予定だそうです。

6年生が下級生のため、また沖縄の方々のために発信した提案が宇仁郷で温かく受け容れていただき、実現したことが、私にとって大きな感動として心に残っています。

地域に見守られて人を思いやる心を育んだ子どもたちが、将来の宇仁郷を担ってくれることを願っています。

(H29.4.1～R3.3.31 校長 仁尾 浩)



宇仁郷のあゆみ 第一章 宇仁郷の黎明期⑤

⑤加古川西部土地改良事業による農地改革

⑤-2 三位一体での取り組み

宇仁郷のほ場整備を推進するため加西市に「宇仁高岡土地改良区」が組織され、八王子地区と宇高地区の2工区に分けて実施されました。

ほ場の区画を約30aに再編し給排水路を分離、各ほ場には給水口と排水口が設けられ畔越しの給水も解消されました。従来田の複雑であった水路は大口径かつ直線化されたので水はよく走り、水路に熟知した専任の水当番でなくとも容易に給水管理ができるようになりました。また、道路も整備され、大型の農業機械を直接ほ場に入れることが可能となり、農道の多くがアスファルト舗装されて作業性が大幅に向上しました。

ほ場区画の拡大は所有権の移動が伴う大変な作業で総論賛成各論に異義ありで、各町では換地委員会を設けるなどして調整に当たりましたが、関係者は換地に随分苦労されました。また事業費の受益者負担金の償還は平成3年～平成27年度の25ヶ年で終わりました。

このほ場整備事業は農林水産省・兵庫県・加西市・地域が三位一体になって取り組んだ結果、順調に推移し、従来の田んぼに比べ生産性の高い農地に生まれ変わりました。



城山より見た青野町のほ場風景